

「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」

学際領域学科

令和7年度研究開発成果物

（3年次）

北海道岩見沢東高等学校

## 目 次

1	研究開発イメージ図	P 2
2	岩見沢市内新設校「i スクール」プラン	P 3
3	スクール・スローガン 募集ポスター	P 4
4	新校章・スクールカラー	P 6
5	新校歌	P 7
6	学校案内	P 9
7	コンソーシアム概略図	P11
8	コンソーシアム設置要綱	P12
9	GANTOゼミ（総合的な探究の時間）概要	P14
10	GANTOゼミ年間計画	P15
11	令和7年度 入学生の探究学習（3年間の流れ）	P16
12	1年次 コミュニケーションスキルトレーニング 学習指導案	P17
13	1年次 地域巡検 I	P18
14	アントレプログラム	P19
15	台湾探究研修旅行	P20
16	台湾探究研修旅行 発表会	P21
17	コンソーシアム会議	P22
18	1年次 総合的な探究の時間「クリティカル・シンキング」	P23
19	2年次 ポスターセッション	P24
20	2年次 オーストラリア探究研修	P26
21	3年次 個人探究「プレゼンテーション」	P27

管理機関名【北海道教育委員会】

令和5年度 新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）

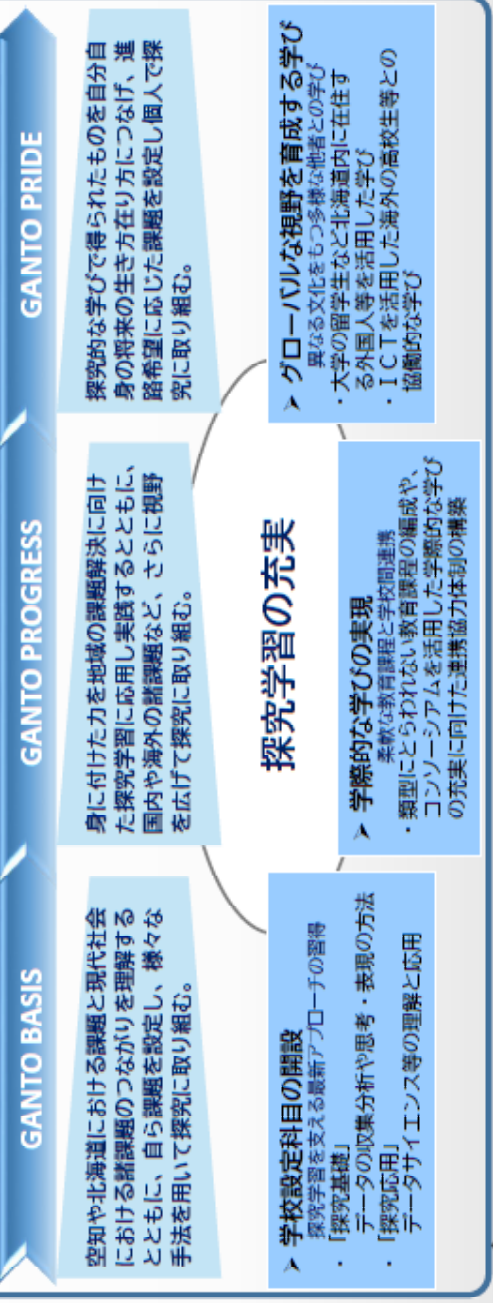
## 【北海道岩見沢東高等学校】学際領域学科（令和7年度設置）

### 特色・魅力ある教育の概要

#### 目的

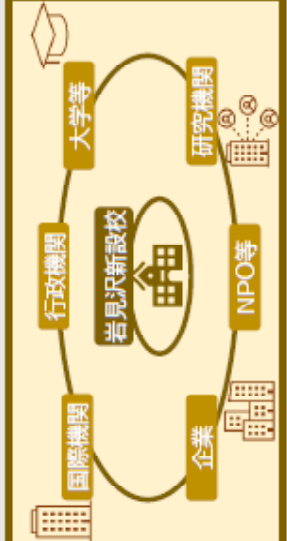
- 外部の機関等の協力のもと学際的、複合的な最先端の学問分野の知見に基づき探究的な学びに取り組むことにより、予測困難なこれからの社会の持続・発展に寄与する知識、技能、態度を身に付けた生徒を育成する。
- 総合的な探究の時間や学校設定科目を核としたカリキュラムマネジメント及び教育プログラムの開発に取り組むことにより、地域の期待に応える高校づくりを進めるとともに、本道における普通科新学科校のモデルとなる。

#### 現代的な諸課題を自分事としてとらえ、地域から世界の諸課題へ段階的に学びを発展させる探究学習



#### コンソーシアムの構築方法

これまでの探究学習、進路指導等につなげた関係機関（連携協議会）を核として、本校同窓会及び地域の行政機関の協力を得ながら、市内の他校とも連携し、岩見沢市内の高等学校における教育の発展・充実に資する連携協力体制の構築を目指す。



令和7年 統合新設校 開校

我が国や国際社会の問題や課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる生徒を育成する魅力ある新学科の開設

2 岩見沢市内新設校「i スクール」プラン

岩見沢市内新設校設置(令和7年度開校)

# 「i スクール」プラン

wamizawa

岩東と岩西が統合して  
新しい普通科単位制高校に  
(普通科新学科2クラス・普通科4クラス)

岩東特進クラスを継承

三つの「あい」で  
地元の生徒を育てます

## 出あい

「主体性」「コミュニケーション能力」等の育成

＜地域の期待＞

- ・ 難関大学進学指導
- ・ 探究的な学び
- ・ 部局活動の充実 (アンケート調査より)

コミュニケーションスキルトレーニング

地域巡検 (三笠ジオパーク)

他県高校生との探究学習 (鳥根県)

海外研修 (ニュージーランド)

## ふれあい

「課題発見力」「学びに向かう姿勢」等の育成

地域イベントへの協力 (百餅まつり)

教職インターンシップ (岩見沢市内小・中学校)

農業体験

## 学びあい

「協働する力」「表現力」等の育成

ポスターセッション (探究学習発表会)

地元企業の皆様との探究

上級生への進路相談 (異学年交流)

## 地元で高い目標を実現 「i スクール」プラン

普通科新学科 新学科では、学校設定科目等での質の高い探究に取り組み、課題解決等の能力を身に付けます  
— 難関大学等へ進学し将来社会で活躍する人を目指す —

普通科普通科 普通科では、総合的な探究の時間等で探究を深め、  
思考力・判断力・表現力等を育みます  
— 大学等への進学後や就職後に社会で活躍する人を目指す —

### 知識・技能の定着

授業とICT

ICTの活用

学校行事でチームワークを

自分の強みを部局活動で発揮

### 探究学習

【総合的な探究の時間・キャリア教育】

地域を知る 地域に飛び出す 世界に飛び出す

1年次 2年次 3年次

地域巡検・JA農業体験

海外研修・グループ探究

志望する学問の課題研究

### 創造力と深い学び

【「探究基礎」「探究応用」】

イベント企画

卒論制作

データサイエンス学習

大学生との学び (道教大岩見沢校等)

探究ルーム設置 (文科省DXハイスクール事業申請中)

## コンソーシアム

地元の生徒を支える心強いサポーター

岩見沢市 岩見沢市教育委員会 岩見沢商工会議所 岩見沢青年会議所 空知信用金庫  
北海道教育大学岩見沢校 北海道大学 北海道医療大学 弘前大学 吉田学園 北海道教育委員会  
大地会 (同窓会) エミプラスラボ ベネッセコーポレーション JICA 北海道国際交流・協力総合センター  
＜岩見沢市内・南空知圏域の企業・団体・関係機関等：50事業所＞

「新設校」のページにてご覧ください。

本校は、岩見沢東高等学校と岩見沢西高等学校とが再編整備となり、令和7年度に普通科文理探究科（学際領域に関する学科）2学級、普通科4学級の 신설校となりました。

開校まで、本校が所在する南空知学区には学際領域に関する学科がないため、本資料により、文理探究科について中学生や保護者等に説明してきました。

## 岩見沢市内新設校「岩見沢東高等学校」スクール・スローガンの募集について

4月に開校する新設校のスクール・スローガンを決定するに当たり、生徒の皆さんからアイデアを募集します。

多くの学校には「校訓」があり、伝統のある岩見沢東高等学校と岩見沢西高等学校には、開校以来継承されてきた立派な校訓があります。

### ○ 岩見沢東高等学校 校訓

#### 一、誠実にして行に表裏あるべからず

一、常に守るところあり喜んで規律に従うべし

一、他人を怙まず自力にて学修すべし

### ○ 岩見沢西高等学校 校訓

「創造・自律」

校訓は、学校が目指す生徒の人間像を表して愛校心を育むだけでなく、生徒間の結び付きや、地域と学校とを結び、世代間で継承され、地域の活性化を図ってくれるものです。

この度、新設校開校に当たり、両校の校訓に代わる新たな校訓＝「スクール・スローガン」を、皆さんのアイデアで創りたいと思います。

ついては、両校の伝統、新設校での学校生活への期待など、思いを言葉にして寄せてください。

「名言」、「一文字」、「熟語」、「四字熟語」、「英語」から「造語」まで、皆さんの想像力、豊かな発想を期待しています。

令和7年（2025年）3月1日

北海道岩見沢東高等学校  
北海道岩見沢西高等学校  
生徒及び保護者 各位

北海道岩見沢東高等学校長 渡 辺 淳 一  
北海道岩見沢西高等学校長 伊 勢 一 哉

岩見沢市内新設校のスクール・スローガンについて（お知らせ）

早春の候 保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、両校の教育活動に対しまして、御理解御協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、この度、岩見沢市内新設校のスクール・スローガンを次のとおり決定しましたので報告いたします。

多くの学校には校訓があり、岩見沢東高等学校と岩見沢西高等学校にも開校以来継承されてきた校訓がございますが、新設校開校に当たり、両校の校訓に代わる新たな校訓を「スクール・スローガン」と称して生徒のアイデアで選考してまいりました。

選考に当たりましては、両校の全日制課程・定時制課程から応募のあった49の言葉から、両校生徒会執行部が候補を3点に絞り、最終的に全校生徒による投票で決定しました。

これまで、多くの皆様のお力添えをいただきましたことにお礼を申し上げます。

今後とも、新設校の開校に向けて様々な取組を進めてまいりますので、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- スクール・スローガン：雲外蒼天（うんがいそうてん）

【意味】

どんな試練でも努力して乗り越えれば快い青空が望める、という意味。

勉強面、部活面、人生において、どんな人も必ず困難に直面することがあるが、努力して乗り越えた先には良い結果が待っている。

- 得票率：57.9%

#### 4 新校章・スクールカラー



- 制作者：二瓶優生さん 岩見沢東高等学校3年生
- デザインタイトル：春
- 校章デザインへの思い：

岩見沢東高等学校と岩見沢西高等学校両校の校章には、雪がモチーフとして含まれています。

新設校はその両校が合併し、新たな季節を歩むということで「春」を想像させる「桜」をモチーフにしました。春は、新しいことにドキドキ、そわそわする季節です。

新設校もそれぞれが不安や期待をかかえながら、スタートしていく と思います。

雪の結晶と桜を重ね、雪どけの桜を表現し、両校の伝統を引き継ぎつつ、新たな時代に花開く様子を表しました。

じっとして冬を越す桜の「粘り強さ」、一輪で見ても美しいけれど、集まるとまた違った美しさを放つ桜の魅力、その花弁の重なりで「創造性」「協働性」、まだ肌寒い季節に堂々と咲く様子から、「健康」「情操豊か」な人間性を示しました。

どんな未来が待っているのか、誰も想像できない中で、それでも力強く咲きほこる岩東でありたいという願いを込めました。

#### 【新校章及びスクールカラーの決定まで】

両校生徒有志による校章作成プロジェクトチームにより決定。校内からデザイン案を募集し、数案を投票で決めた。その後、作成に当たり、北海道教育大学岩見沢校准教授の大西 洋先生や同大学の皆様から指導ご助言をいただき、最終選考を行った後、完成した。

また、スクールカラーの選定に当たっては、全校生徒の投票結果を踏まえて決定。

## 校歌

一、風<sup>かぜ</sup>牙<sup>き</sup>ゆる<sup>る</sup>季<sup>き</sup>を越<sup>こ</sup>え 希<sup>き</sup>望<sup>ぼう</sup>の<sup>の</sup>花<sup>はな</sup>が彩<sup>いろど</sup>る  
さあ行<sup>い</sup>こう 此<sup>こ</sup>れ<sup>ら</sup>か  
はじまる未<sup>み</sup>来<sup>らい</sup>へ

二、こ<sup>こ</sup>で<sup>で</sup>出<sup>い</sup>会<sup>あ</sup>った<sup>た</sup>奇<sup>き</sup>跡<sup>せき</sup> は<sup>は</sup>ず<sup>ず</sup>だ<sup>だ</sup>並<sup>な</sup>木<sup>き</sup>通<sup>と</sup>  
笑<sup>わら</sup>い<sup>い</sup>あ<sup>あ</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup> 夏<sup>なつ</sup>の<sup>の</sup>日<sup>ひ</sup>  
放<sup>はな</sup>課<sup>か</sup>後<sup>ご</sup>の<sup>の</sup>夕<sup>ゆふ</sup>陽<sup>ひかり</sup>  
広<sup>ひろ</sup>い<sup>い</sup>空<sup>そら</sup>知<sup>ち</sup>に<sup>に</sup>集<sup>あ</sup>い 受<sup>う</sup>け<sup>け</sup>継<sup>つ</sup>が<sup>が</sup>れる<sup>る</sup>伝<sup>でん</sup>統<sup>とう</sup>  
君<sup>きみ</sup>の<sup>の</sup>信<sup>しん</sup>じ<sup>じ</sup>る<sup>る</sup>一<sup>いっ</sup>歩<sup>ぽ</sup>が  
明<sup>あ</sup>日<sup>にち</sup>に<sup>に</sup>つ<sup>つ</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>つ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>く  
心<sup>こころ</sup>躍<sup>たぎ</sup>ら<sup>ら</sup>せ<sup>せ</sup>る<sup>る</sup>日<sup>ひ</sup>々  
し<sup>し</sup>な<sup>な</sup>や<sup>や</sup>か<sup>か</sup>に<sup>に</sup>生<sup>い</sup>き<sup>き</sup>て<sup>て</sup>行<sup>い</sup>こう

### 【新校歌制作まで】

本校の新校歌の制作に当たり、岩見沢市ご出身のミュージシャンで「東京スカパラダイスオーケストラ」のテナーサックス奏者でいらっしゃるGAMO様に制作を依頼した。

GAMO様からは制作に当たり、温かいメッセージを賜るとともに、ご意向により全校生徒たちへアンケート（GAMO様作成）を実施し、その回答を参考に楽曲を制作していただいた。

新校歌は今年度の卒業式において、本校吹奏楽局と合唱部の協力により披露した。

新校歌掲載URL <https://www.iwamizawahigashi.hokkaido-c.ed.jp/>



「卒業式」

**令和7年度開校 北海道岩見沢東高等学校 新校歌完成！**  
**GAMO氏（東京スカパラダイスオーケストラ）が作詞・作曲 郷間幹男氏が編曲**  
**生徒の学校生活・地域への思いと、GAMO氏の期待が込められた楽曲**

北海道岩見沢東高等学校と北海道岩見沢西高等学校との再編統合により令和7年度開校した「北海道岩見沢東高等学校」の新しい校歌が完成いたしました。作詞・作曲は岩見沢市出身の東京スカパラダイスオーケストラのメンバーであるGAMO氏、編曲は編曲家・作曲家の郷間幹男氏に依頼いたしました。

制作に当たり、GAMO氏から生徒向けのアンケートを実施いたしました。内容は、「学校生活の楽しみ」や「好きな季節・景色」、「新設校スタートへの思い」などでした。

この結果を参考に、GAMO氏が歌詞や楽曲をイメージして制作してくださいました。歌詞には、本校生徒が新しい学校に向けて選考したスクール・スローガン「雲外蒼天」も盛り込んでいただき、また、歌詞の一節「しなやかに生きて行こう」には、GAMO氏が生徒たちに期待している「芯の通った強さを兼ね備えた柔軟性」の大切さも込められています。

全日制・定時制とも、生徒への披露は昨年末に実施。また、昨年12月22日、東京スカパラダイスオーケストラの札幌公演（47都道府県 HALL TOUR「47」）の中で、GAMO氏ご本人が制作を発表。ライブには本校生徒も聴衆の一人として参加していました。

現在、吹奏楽局と合唱部が楽曲の練習を行っており、3月1日の卒業式においてピアノ伴奏による合唱を披露する予定です。なお、今後、楽曲を学校ホームページに掲載する予定です。

**【GAMO様 コメント】**

今回校歌を制作させてもらうにあたり、この学会でかけがえのない時を過ごされる皆さんが、夢や目標、未来に向かって大きく羽ばたく力を育んでいる日々をそっと後押しできるようなものになるといいなと考えました。新たに紡がれていく岩見沢東高等学校の歴史や皆さんの思い出と共に長く歌い継がれる曲になってくれたらこんなに嬉しいことはありません！



一 風冴ゆる季を越え  
希望の花が影る  
さあ行こう これから  
はじまる未来へ

二 ここでお出会った奇跡  
はずんだ並木通  
笑いあつた夏の日  
放課後の夕陽

広い空知に集い  
受け継がれる伝統  
君の信じる一歩が  
明日につながるっていく  
心躍らせる日々  
しなやかに生きて行こう

**【生徒たちのコメント】**

**生徒会会長 羽立 悠馬さん**

きれいな音色、そよ風が草をなびかせているような爽やかさを持つメロディーで、心が洗われるような感覚がありながら、どこかワクワクする。そんな不思議で心地よい印象を受けました。また、歌詞も含めさることで学校生活の何気ない瞬間が美しいものとして描き出されているように感じられました。音楽の「お」の字も分からない私ですが、制作の過程でGAMOさんが校歌に込めてくださった思いを理解できたような気がします。改めて岩見沢東高等学校の校歌を制作していただきありがとうございます。

**吹奏楽局局長 駒谷 怜音さん**

初めて新しい校歌を聴いたとき、とても心地よく深い安心感を覚えました。優美な流れのある三拍子のリズムと、私たち岩東生のアンケートを元に制作してくださった歌詞は、岩東で過ごした日々を鮮やかに思い出させてくれました。このような素敵な校歌をつくってくださったGAMOさん、郷間さんには心から感謝しています。長く広く愛される校歌であると確信し、愛情を込めて演奏、歌唱します。

**吹奏楽局局員 新保 結奈之さん**

新しい学校のスタートにあたり、GAMOさん、郷間さんのお二人が手がけた校歌を迎えられたことをありがたく思います。流れるような三拍子と広がりを感じさせる和音が印象的でした。また、斉唱や二部合唱、吹奏楽伴奏、シンフォニックバージョンなど様々な形で演奏できる点も魅力的だと思います。色々な側面を持つこの校歌を、これからの岩東に引き継いでいけるよう心を込めて演奏していきます。

**合唱部部長 坂本 一華さん**

新しい校歌は、他にはあまりない「三拍子」の曲調、清々しい気持ちになれる歌詞で、とても明るい曲だと思います。初めて聴いた時、まるで雲の上にいるような気持ちになり、私たち岩東生のスローガンである『雲外蒼天』が思い浮かびました。特に「どんな壁も試練も雲を突き抜けたなら蒼い空が広がる。共に歩いて行こう」というフレーズが好きです。私自身壁にぶつかることが多いのですが、壁を越えたからこそ見える景色があります。新しい校歌は、これから壁を乗り越える時、私に寄り添ってくれる。そんな気がしています。

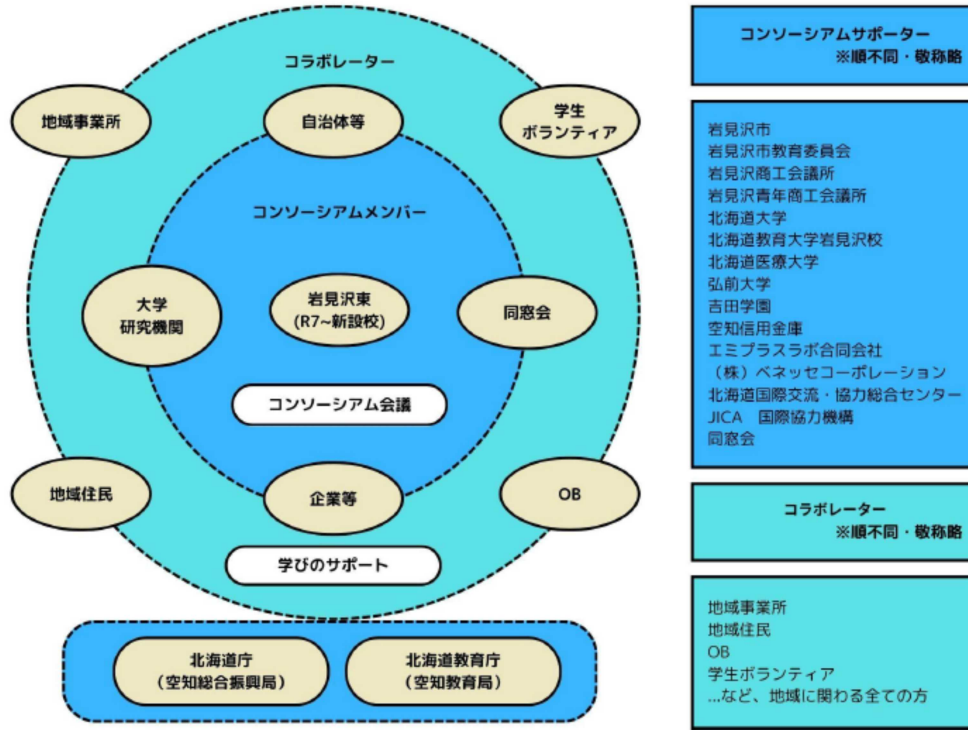
**定時制課程生徒会長 栗野 柚葉さん**

初めてこの校歌を聴いた時、現代風で軽やかな曲調が印象に残りました。





# 「i スクール」コンソーシアム (北海道岩見沢高等学校)



## 8 コンソーシアム設置要綱

北海道岩見沢東高等学校

「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」に係る  
コンソーシアム設置要綱

（目的）

### 第1条

現代的な諸課題のうち、SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴う諸課題に対応するため、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に則した最先端の特色・魅力ある学びに重点をおく本事業の目標達成のため、様々な教育資源を活用する学習機会の充実を図り、生徒の主体的に学ぶ意欲や興味・関心、さらには進路希望の実現に向けた学習ニーズに対応し、豊かな教養や専門的な知識や技能等を育成する教育課程の充実に加え、生徒の探究活動の発展、深化を目指し、本校と大学、研究機関、事業所等の地域社会との持続的で効果的な連携・協働体制を維持するコンソーシアムを構築する。

（名称）

第2条 本コンソーシアムの名称を「北海道岩見沢東高等学校コンソーシアム」とする。

（事業）

第3条 本コンソーシアムは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 本事業推進に係る情報交換、意見交換
- (2) 本事業実施上の連携方策についての協議、検討
- (3) 探究的な学習の授業・行事等への支援
- (4) その他、コンソーシアムの目的達成に資する事業

（組織）

第4条 本コンソーシアムは次の構成員で組織する。

- (1) 本校教職員

校長、教育コーディネーター並びに本事業に関わる教職員

- (2) 外部構成員

大学、自治体、企業（事業所）、関連団体等

ただし、外部構成員は生徒の探究領域等に柔軟に対応するために、必要に応じて拡充を図るものとする。

第4条の2 各構成員の登録任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日までとする。

第4条の3 各構成員はコンソーシアム登録承諾書の提出をもって本コンソーシアムに登録される。

2 登録を取り消そうとする場合は、校長宛に書面をもってその旨を届け出る。

（会議）

第5条 本コンソーシアムは次のとおり会議を開催するものとする。

- (1) 目的 本校教育活動の現状及び課題の共有を図り、更なる充実・発展に向けた指導・助言の場として開催することを目的とする。また、毎年度毎に教育活動の評価を行うこととする。

- (2) 出席者 本校教職員及び構成員とする。
- (3) 開催 年2回開催を原則とする。

(事務局)

第6条 本コンソーシアム事務局を北海道岩見沢東高等学校に置く。事務局は次により構成する。

- (1) 事務局長（教頭）
- (2) 岩見沢東高等学校教育コーディネーター
- (4) 会計（事務長）

2 事務局は、コンソーシアムの目的達成のため、次の業務を行う。

- (1) コンソーシアムの庶務に関すること。
- (2) コンソーシアム会議に関すること。
- (3) 生徒の探究的な学習に関すること。

(会計)

第6条の2 本コンソーシアムの運営に係る経費は「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」予算から支出する。会計業務は事務局が行う。

(その他)

第7条 本要綱の改訂は第4条の会議で行う。

(補足)

3 各構成員の業務

(1) 本校教職員・教育コーディネーター

- ア コンソーシアムの構築、運営及び会議の開催等に係る業務
- イ 生徒の探究的な学習の企画及び運営に係る業務
- ウ 生徒の探究活動に係る登録メンバーと生徒のマッチングに係る業務

(2) 外部構成員

- ア コンソーシアム会議等に参加し、学校の教育活動に対し助言する業務
- イ 探究活動成果発表会に出席し、生徒の活動へ助言を行う業務
- ウ 探究的な学習に係る出前講義等の学習支援  
(生徒の進路活動を支援する学校行事等への参加を含む)
- エ 施設見学等の生徒の体験的学習を支援する業務
- オ 「総合的な探究の時間」に係る生徒の活動への一時的（または継続的）な指導及び助言する業務（オンラインでの実施を含む）
- カ メンバーが支援可能な学習活動に係る情報提供に係る業務
- キ 必要に応じ、探究活動成果発表会での生徒の活動へ指導・助言を行う業務。

(注) 各メンバーの業務については、メンバーの特性に応じて事務局から依頼するものであり、全ての業務を依頼するものではない。

9 GANTOゼミ（総合的な探究の時間）概要 【文理探究科・普通科 共通】

○プログラムの概要とねらい

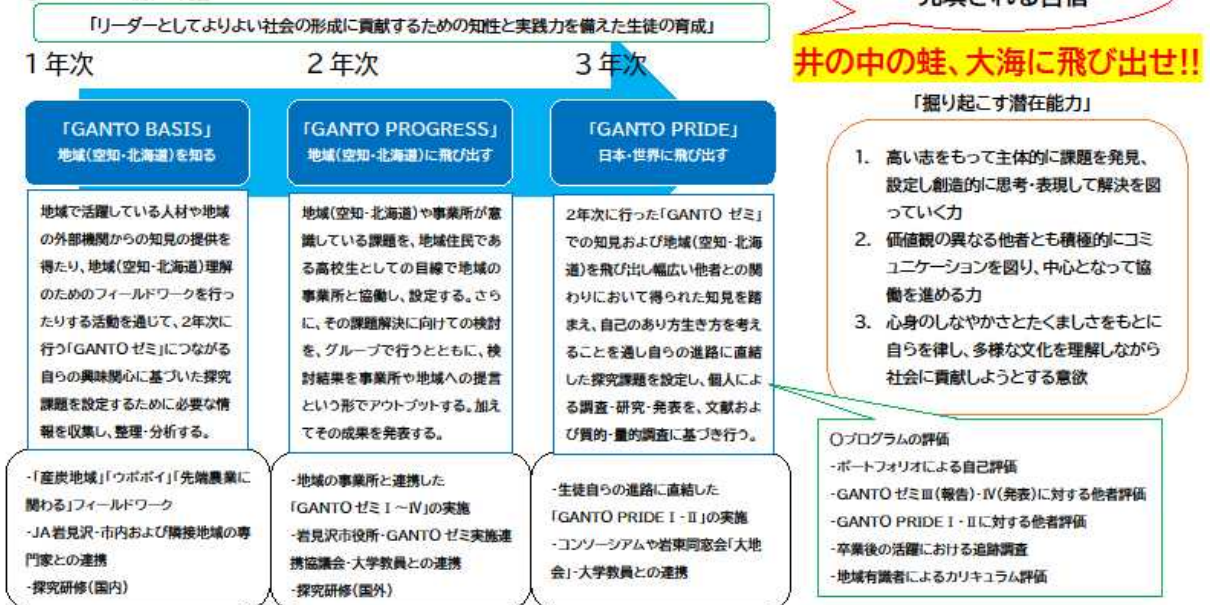
北海道岩見沢東高等学校（以下、GANTO）の生徒の、心のエンジン駆動に必要なリソースは、「総合的な探究の時間」を軸とした教育活動により充填される「自信」である。北海道、特に本校が位置する空知地域における GANTO への期待は、スクールミッションでもある「我が国や国際社会の問題や課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる生徒の育成」である。本プログラムは、“井の中の蛙”的な生徒に「潜在能力（Capability ケイパビリティ）を掘り起こす」ことで「自信」を持たせることをねらいとした「総合的な探究の時間」を軸にした教育プログラムである。

**「潜在能力(Capability ケイパビリティ)を掘り起こす」プログラム～井の中の蛙、大海に飛び出そう!!** ※潜在能力:さらに上昇する可能性のある能力のこと  
**北海道岩見沢東高等学校**

○プログラムの概要とねらい

北海道岩見沢東高等学校(以下、GANTO)の生徒の、心のエンジン駆動に必要なリソースは、「総合的な探究の時間」を軸とした教育活動により充填される「自信」である。北海道、特に本校が位置する空知地域における GANTO への期待は、スクールミッションでもある「リーダーとしてよりよい社会の形成に貢献するための知性と実践力を備えた生徒の育成」である。本プログラムは、“井の中の蛙”的な生徒に「潜在能力(Capability ケイパビリティ)を掘り起こす」ことで「自信」を持たせることをねらいとした「総合的な探究の時間」を軸にした教育プログラムである。

○プログラムの流れと内容



「農業プロフェッショナル講演」(1年次)

10 GANTOゼミ年間計画

月	日	1学年「GANTO BASIS」		2学年「GANTO PROGRESS」		3学年「GANTO PRIDE」			
		校時	内容	校時	内容	校時	内容		
4	9	5~6	コミュニケーションスキルトレーニング						
	11	木	7	ウロボイの振替授業4/27①	7	ガイダンス（1年間の流れの説明）	7	GANTO PRIDE I	
	15	月					7	GANTO PRIDE I	
	18	木	7	探究基礎（ウロボイ事前学習）	6,7	GANTOゼミブレ12（特別講義）	7	GANTO PRIDE I	
	22	月	7				7	GANTO PRIDE I	
5	25	木	1~6	地域巡検（ウロボイ）	6,7	GANTOゼミブレ2	7	GANTO PRIDE I	
	2	木	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	6	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	9	木	7	ウロボイの振替授業4/27LHR	1~7	GANTOゼミI（調査①）	7	GANTO PRIDE I	
	13	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	16	木	7	探究基礎（ウロボイ事後学習）	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26水①	7	GANTO PRIDE I	
	20	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	23	木	7	ウロボイの振替授業4/27②	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26水②	7	GANTO PRIDE I	
	27	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	30	木	7	ウロボイの振替授業4/27③	7	GANTOゼミI（調査①）の振替授業5/26水③	7	GANTO PRIDE I	
	6	3	月	7		7		7	GANTO PRIDE I
		10	月	7		7		7	GANTO PRIDE I
		13	木	7	JA農業体験の振替授業LHR	1~7	GANTOゼミI（調査②）	7	GANTO PRIDE I
17		月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
20		木	7	ウロボイの振替授業4/27④	7	GANTOゼミII（探究①）	7	GANTO PRIDE I	
24		月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
27		木	7	ウロボイの振替授業4/27⑤	7	GANTOゼミII（探究②）	7	GANTO PRIDE I	
7	1	月	7		7		7	GANTO PRIDE I	
	11	木	7	JA農業体験の振替授業9月中木①	6,7	GANTOゼミII（探究②）	7	GANTO PRIDE I	
	18	木	7	三年生探究発表会見学	5~7	GANTOゼミII（探究③）	5~7	GANTO PRIDE I（探究発表会）	
8	21	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	28	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	31	木	7	農業巡検事前学習	6,7	GANTOゼミII（探究⑤）	7	GANTO PRIDE II	
9	4	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	11	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	14	木	1~6	フィールドワーク（スマート農業）未定	4~7	GANTOゼミIII（発表①）	7	GANTO PRIDE II	
	25	月	7		7		7	GANTO PRIDE II	
	21	木	7	農業体験事後学習、三笠ジオパーク事前学習	7	GANTOゼミIII（発表②）	7	GANTO PRIDE II	
10	28	木	7	2年生のびらびら見学	5~7	GANTOゼミIII（発表③）	7	GANTO PRIDE II	
	5	木	1~6	フィールドワーク（三笠ジオパーク）	7	GANTOゼミIV（振り回り）			
	12	木	7	三笠ジオパーク事後学習	7	GANTOゼミIV（まとめ作成）			
	19	木	7	GANTO BASIS「課題探究」		見学旅行2年			
	26	木	7	GANTO BASIS「課題探究」	7	GANTOゼミIV（まとめ作成②）			
11	2	木	7	GANTO BASIS「課題探究」	7	GANTOゼミI（調査②）の振替授業5/26水①			
	9	木	7	GANTO BASIS「課題探究」クラス代表決定	7	GANTOゼミI（調査②）の振替授業5/26水②			
	13	月	7						
	30	木	7	GANTO BASIS「1年の振り回り」	7	GANTOゼミI（調査②）の振替授業6/12水①			
12	7	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/6LHR	7	GANTOゼミI（調査②）の振替授業6/12水②			
	14	木	7	JA農業体験の振替授業9月中木②	7	GANTOゼミI（調査②）の振替授業6/12水③			
	21	木	7	JA農業体験の振替授業9月中木③	7	GANTOゼミI（調査②）の振替授業6/13水①			
1	18	木	6	JA農業体験の振替授業9月中木④	7	GANTOゼミI（調査②）の振替授業6/13水②			
	25	木	6	JA農業体験の振替授業9月中木⑤	7	GANTOゼミII（発表④）の振替授業7/18水①			
2	1	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5①	7	GANTOゼミII（発表④）の振替授業7/18水②			
	8	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5②	7	GANTOゼミII（発表④）の振替授業7/18水③			
	15	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5③	7	GANTOゼミII（発表④）の振替授業7/28水①			
3	7	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5④	7	道路活動			
	14	木	7	三笠ジオパークの振替授業10/5⑤	7	道路活動			

「1年の振り回り」は指導要録で必要。昨年度LHRで実施  
 「課題探究」はLHRと合わせて7コマ実施 クラス代表選出 11/30に全体



### 学習指導案

北海道岩見沢東高等学校 1年次

日時	令和7年4月9日(水)5・6校時	場所	体育館
教科	総合的な探究の時間	授業担当者	岩田 学、1年次団
単元名	コミュニケーションスキルトレーニング	対象者	1年次 202名
本時間	年次開き		
1学年の目標	あたりまえをあたりまえに、自己管理、強み発見		
本時の目標	クラスの枠を越えた交流を図ることで、三年間ともに過ごす仲間としての意識を高める。 コミュニケーションの基本を学び、自分から働きかけて関係を築く力を身につける。		
段階	学習内容	指導のねらい・学習活動	
		生徒の学習活動	教員の指導・支援
導入 (5分)	本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSTの目的を理解する</li> <li>・本時のねらいを確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSTの目的を説明</li> <li>・本時のねらいを説明</li> </ul>
展開 (30分)	あなたのことが知りたいの。インタビュービンゴ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの基本を学ぶ(3分)</li> <li>・インタビュービンゴのやり方を理解する。(3分)</li> <li>・ロールプレイを見る(5分)</li> <li>・実際にインタビューしてみる(15分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①挨拶②自己紹介③聞く④質問する⑤サインをもらう⑥お礼を言う</li> <li>・表に書いてある質問をする。</li> <li>・隣のクラスの人にインタビューする</li> <li>・答えを書いたら、相手からサインをもらう。</li> <li>・たくさんの人にインタビューをし、ビンゴのように揃える。</li> <li>・教員によるロールプレイ 担任2名</li> <li>・たくさん質問した人にはいいことがある</li> <li>・生徒の動きを観察し、動けない生徒がいたら声をかけ、補助する。</li> </ul>
		(指導のねらい)コミュニケーションの基本を学ぶに、自分から行動し質問をすることができる。	
まとめ (5分)	ふりかえりとまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どれぐらいの人と話せたか振り返る。</li> <li>・コミュニケーションをとることにより相手との距離が縮まることに気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が一番多く話せたか、ビンゴの数が多かったのは誰か聞く。</li> <li>・話したことのない生徒と会話をすることで、場の空気が変わっていることに気づかせる。</li> </ul>
		(指導のねらい)話して理解することで、ともに過ごす仲間としての意識を高める。	

段階	学習内容	指導のねらい・学習活動	
		生徒の学習活動	教員の指導・支援
	私のトリセツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイレントバースデーチェーン(5分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声を出さず、ジェスチャー等で誕生日順に並ぶ</li> </ul>

令和7年4月8日  
第1年次

令和7年度 第1年次「総合的な探究の時間」地域巡検Ⅰ 実施要領

- 1 目的** 「総合的な探究の時間」のねらいに基づき、北海道及び空知で活動している外部人材・外部機関等からの知見の提供を受ける。  
※ 自己の在り方生き方と一体で不可分な、人と社会、自然との関わりにおいての課題を、生徒自らが発見し解決していく過程において、自主性、積極性、協働する力を育成する。
- 2 日時** 事前学習 4月17日(木)6～7校時 本校体育館、各HR教室  
地域巡検 4月24日(木)1～6校時 ウポボイ 民族共生象徴空間  
事後学習 5月1日(木)7校時 各HR教室
- 3 事前学習** 講師 3年次生徒2名 プレゼンテーション(令和6年度ウポボイ発表生徒2名)  
目的 地域巡検でウポボイを訪問するにあたり、事前学習として先輩の知識・体験をレクチャーいただき、学習をより実りのあるものとする。
- 4 地域巡検** 1) 引率者 岩田(1年次主任)・小林、熊谷、瀬川、松田、板橋、三原(1年次担任)  
2) 日程 8:20～8:30 バス内にて出欠確認、SHR(諸注意)  
8:30 本校出発  
10:00 ウポボイ到着  
14:00 バス集合、ウポボイ出発  
15:30 本校到着 バス内にてSHR、放課  
3) 持ち物 筆記用具、弁当、雨具(雨天時)、防寒具  
4) その他 季節柄を考慮して、天候・野外見学に適した服装・靴を心掛ける  
現地で対応できない急病等が発生した場合は、保護者の送迎をお願いする  
バス費用は教員も含めた参加人数で等分負担する  
当日の欠席者は、参加者数に含め必要経費を等分負担する  
公欠・出席停止の欠席者は、参加者数に含めず、必要経費を負担しない
- 5 事後指導** 1) 生徒は事前に配布されたワークシートを完成させておく。  
2) 4～5名のグループになり、互いにワークシートの内容を発表し合う。  
3) 発表内容に対して意見交換を行う。  
4) 各自のワークシート・話し合いをもとにレポートを作成し提出する。  
レポートの提出は5月8日(木)とする



岩見沢東高校

# アントレ プログラム

起業シミュレーションを  
通して、探究力を高めよう



～ビジネスアイデアを練ってみよう！！～

2025年8月18日（火）10:00～16:00

北海道教育大学  
札幌駅前サテライト

講師：北海道教育大学 准教授  
鈴木 哲平先生

協力：北海道教育大学  
ヘルスケアスポーツマネジメント  
研究室



北海道教育大学岩見沢校 鈴木ゼミに協力してもらいながら、  
ビジネスアイデアを練ってみましょう！！

ビジネスアイデアを練ることは、ただアイデアを練るだけでなく、  
地域課題やニーズ、経済に関わることなど、様々な側面に触れるこ  
とができます。

より実践的で柔軟な探究力を身につけるためにも、ぜひご参加くだ  
さい！！

問い合わせ：岩見沢東高校 教育コーディネーター  
瀬尾（セノオ）  
080-6934-6828

15 台湾探究研修旅行【文理探究科】

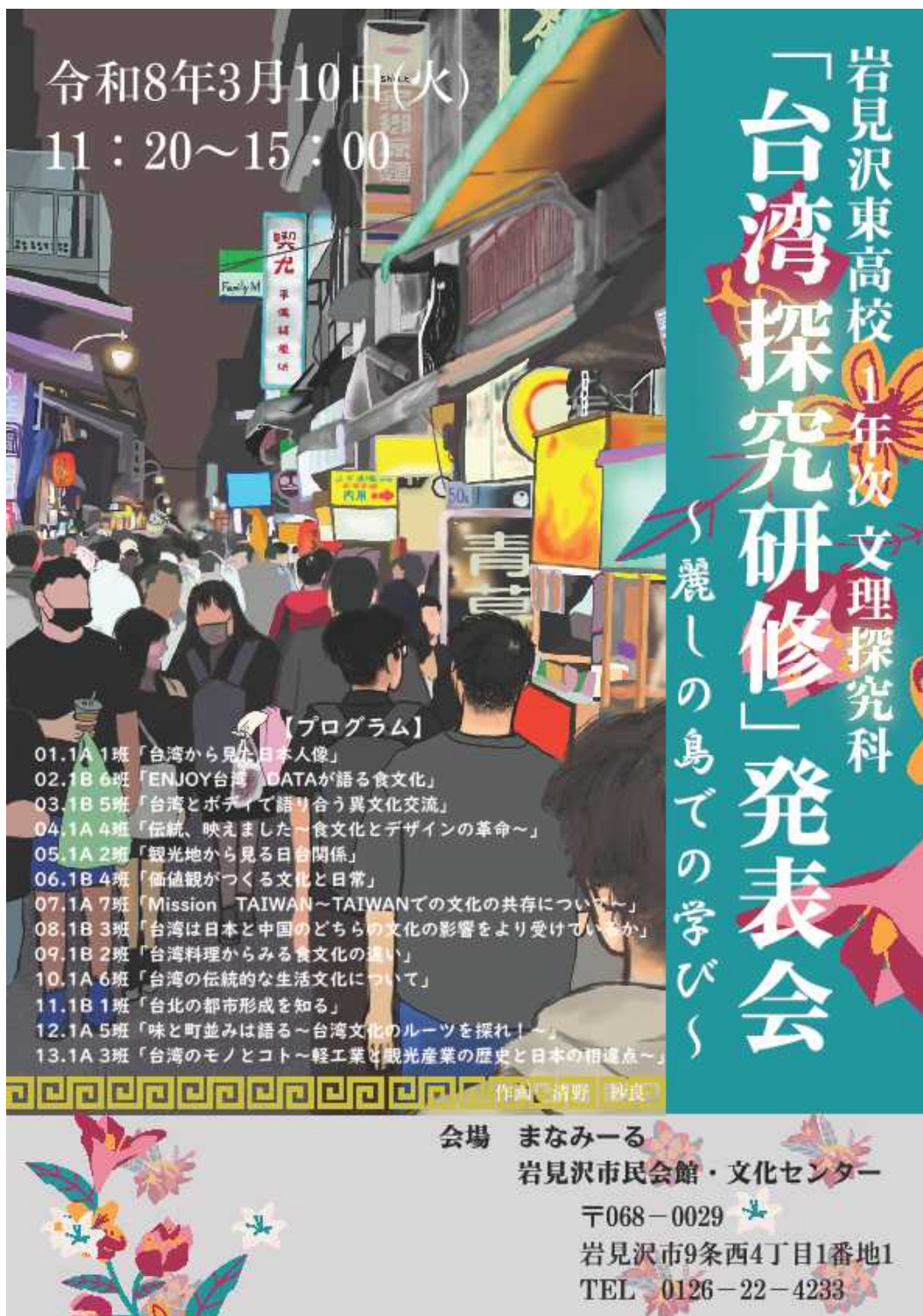
R7 台湾探究研修の年間計画（案）

番号	日付	内容	時数	外部依頼	場所	協力科目
1	9月30日(火)	台湾文化に対する学習	2h	北海道文教大学	本校	英語
2	10月14日(火)	中国語の学習	2h	北海道拓殖大学	本校	国語
3	11月7日(金) 6-7校時	班編成, ホテル・乗り物座席割	2h		本校	数学
4	11月26日(水)	プレゼンテーション学習	2h	北海道情報大学	本校	情報
5	12月10日(水)	オリエンテーション 机上旅行	1h		本校	地理探究
6	12月10日(水)	オリエンテーション JTB	1h	JTB	本校	地理探究
7	12月16日(火)~ 12月20日(金)	台湾探究研修	28h(7h×3日)	JTB	台湾	探究基礎
8	12月23日(火) 1-4校時	プレゼンテーション資料作成	4h		本校	探究基礎
9	3月10日(火)	文理探究科内発表会・解団式	4h		まなみーる	探究基礎

10月23日(木) 台湾探究研修 保護者説明会 18:00~ 本校多目的教室

【旅程】

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	日程	食事
1	12/16 (火)	学校発 新千歳空港着 新千歳空港発 桃園国際空港着 台北	8:30 9:30 12:10 16:05 18:00~19:30 20:00	貸切バス  航空機BR165 専用車	バスにて新千歳空港へ  国際線にて台北へ 着後、士林夜市へ 士林夜市散策 ホテル着	朝：— 昼：—(持参) 夕：機内
2	12/17 (水)	台北	8:30 9:00~12:30  13:30~15:30 16:00ホテル発  20:00	専用車  各自	ホテル発 淡江大学訪問 校内見学(60分)・授業見学(60分)・学生と交流・学食ラ ンチ(90分) 国立故宮博物院 B&S(現地学生交流)プログラム、4~6名で1班 当日の台湾側学生のMRT代、食事代、入場料、交通費は日 本側生徒さんの負担です(現地払い) ホテル着	朝：○ 昼：—(学食) 夕：—(自由食)
3	12/18 (木)	台北 A組 新竹 B組 新竹	8:30 10:30~11:50 12:00~13:00 13:20~14:20 10:30~11:30 11:50~12:50 13:00~14:20 16:30~17:15 18:00~19:00 19:30~20:30 21:00	専用車	ホテル発 「TSMC(台積創新館)」訪問 2期に分け、5~10分間隔で入場、日本語オーディオガイド 昼食 「新竹科技生活館」訪問(通訳案内) 「新竹科技生活館」訪問(通訳案内) 昼食 TSMC(台積創新館)訪問 2期に分け、5~10分間隔で入場、日本語オーディオガイド 忠烈祠 夕食 台北101展望台で夜間観賞 ホテル着	朝：○ 昼：○ 夕：○
4	12/19 (金)	台北 桃園国際空港着 桃園国際空港発 新千歳空港着 新千歳空港発 学校着	6:00 7:00 9:30 14:05 15:30 16:30	専用車 航空機BR116  貸切バス	ホテル発 桃園空港着 国際線にて新千歳空港へ  バスにて学校へ	朝：○(BOX) 昼：機内 夕：—



令和8年3月10日(火)  
11:20~15:00

岩見沢東高校 1年次 文理探究科  
「台湾探究研修」発表会  
麗しの島での学び

【プログラム】

- 01.1A 1班 「台湾から見た日本人像」
- 02.1B 6班 「ENJOY台湾」 DATAが語る食文化」
- 03.1B 5班 「台湾とボチボチ語り合う異文化交流」
- 04.1A 4班 「伝統、映えました～食文化とデザインの革命～」
- 05.1A 2班 「観光地から見る日台関係」
- 06.1B 4班 「価値観がつくる文化と日常」
- 07.1A 7班 「Mission TAIWAN～TAIWANでの文化の共存について～」
- 08.1B 3班 「台湾は日本と中国のどちらの文化の影響をより受けていますか」
- 09.1B 2班 「台湾料理からみる食文化の違い」
- 10.1A 6班 「台湾の伝統的な生活文化について」
- 11.1B 1班 「台北の都市形成を知る」
- 12.1A 5班 「味と町並みは語る～台湾文化のルーツを探れ!～」
- 13.1A 3班 「台湾のモノとコト～軽工業と観光産業の歴史と日本の相違点～」

会場 まなみーる  
岩見沢市民会館・文化センター  
〒068-0029  
岩見沢市9条西4丁目1番地1  
TEL 0126-22-4233





令和7年12月3日

1年次総探担当

1年次 総合的な探究の時間における「クリティカル・シンキング」実施について

1. 実施の目的

本取組は、生徒が将来の進路に向けて必要な「思考力・判断力・表現力」を獲得する大きな機会とすることを目的とします。

身につけさせたい資質・能力以下の通りです。

思考力：自分の頭で考え、物事を筋道立てる力

判断力：自分なりに納得できる答えを導き出す力

表現力：自分の気持ちや考えをわかりやすく伝える力

2. 大学入試への活用可能性

大学入試では、単なる知識の再生ではなく「思考力・判断力・表現力」が強く求められています。具体的には以下の通りです。

① 小論文・記述式問題：与えられた資料を読み解き、論理的に自分の意見を展開する力が必要。

② 総合型選抜・学校推薦型選抜：志望理由書の作成・探究活動の経験や、課題に対する主体的な取り組みが評価される。

③ 面接（個人、集団）・プレゼンテーション：多面的に考え、自分の意見を根拠と共に伝える力が重要。

④ 個別試験の英作文：自分の考えや意見を英語で表現する力を求められる機会が増えている。

総じて、「クリティカル・シンキング」を通じて培った力は、大学入試で直接的に活かされるだけでなく、大学入学後の学問的探究や社会での課題解決力にもつながります。

3. 「書く」ことの重要性

クリティカル・シンキングでは、思考を深める手段として「書く」活動を重視します。

① 思考の可視化：自分の考えを言葉にすることで、曖昧さをなくし論理の筋道を明確にできる。

② 振り返りと成長：文章化することで自己評価や改善が可能となり、努力の積み重ねが見える形になる。

③ 大学入試への直結：小論文や志望理由書、レポート作成などに不可欠な力を早期から鍛えることができる。

4. 実施方法

使用教材：Critical Thinking Advance I (Gakken)

1時間で1テーマ扱う（教材には30テーマ掲載）

個人で取り組む（15～20分）⇒ テーマの意見についてグループ協議（15～20分）⇒まとめ（5分）⇒振り返り（5分）

※教員はファシリテーションを行う。



令和7年9月22日

2年次探究担当

令和7年度 GANTO PROGRESS グループ発表会について

日 時 9月25日(木) 6～7校時

場 所 本校体育館

発表形式 グループ毎のポスターによる発表

全体を2つのグループに分け、6校時と7校時に発表を行う

1回の発表は5分+質疑応答2分

4回～5回の発表を繰り返す

6校時発表のグループは7校時の発表を、7校時発表のグループは6校時の発表を聞く

どの発表を聞くかは自由(興味のある発表を聞く)

発表を聞く者は発表内容のメモをとる

ワークシートを事前に準備

相互評価はしない

進 行 島影

そ の 他 生徒は昼休みの間に発表の準備をして体育館へ移動

5校時は会場準備と各グループの最終打合せ

クリップボード、筆記用具持参

第2多目的教室よりパネルを移動

探究活動に協力頂いた方が見学に来ます

見学の方のために、体育館入り口付近に長机と資料を準備

発表一覧

前半

番号	テ ー マ
1	学校教育に心理カウンセラーは本当に必要だろうか
2	農業体験を広げよう！
3	猟師の減少を解決するためには
4	人口減少社会
5	岩見沢をより住みやすくするにはどうすべきなのか
6	シェア！しえあ！ Share！
7	岩見沢の魅力をパン（キタノカオリ）で発信する）
8	スマート除雪バイト
9	岩見沢の少子化について
10	シャッター街について
11	通過される街から立ち寄られる街へ
12	ドカ雪まつりで冬の課題解決！
13	岩見沢の転入者を増やすためには
14	ゴミ袋をレジ袋に！
15	教育の労力低減
16	貸出型フリースペースとして活用する

前半

番号	テ ー マ
17	岩見沢の医療環境の悪化
18	農業で都会の荒野を拓く
19	映える雪の街にするためには
20	働くメリット 町おこしイベント
21	すみよい田舎づくり
22	観光産業の低迷を防ぐには
23	岩見沢活性化～ワクワクシアター IWAMIZAWA～
24	外国人、防災
25	岩見沢興し
26	空き家の利用
27	岩見沢を蘇らせる
28	雪上の音楽イベント
29	部活動の地域移行によるメリットと弊害について
30	駅にあるピアノを救う！
31	教育の質

令和8年度 海外探究研修（オーストラリア）実施要項

- 1 日程 令和8年3月13日(金)～ 23日(月) 11日間
- 2 参加生徒
 

2年A組	小田 琉渡	笠松 蛍人	菊地 理斗
	駒谷 怜音	長嶋 佑芽	名和 惟成
2年B組	関口 瑛麒	土屋 美月	
2年C組	坂 友里恵		
- 3 引率教員 2年A組担任 大沼 寛
- 4 研修場所 オーストラリア（南オーストラリア州アデレード市）
- 5 現地校 グレナング インターナショナル ハイスクール（アデレード市内）
- 6 研修内容
 

自らが立てた探究テーマにもとづき、現地で調査・研究を行う。

\*現地校での昼休み及び放課後、ホームステイ先でのホストファミリーとの交流の間で実施する。
- 7 旅行取扱業者 株式会社アイ エス エイ 札幌支店（担当：平田 喬大）
- 8 費用 630,000円  
（うち、150,000円程度を岩見沢東高校同窓会より補助）

9 行程表

日付	時間	旅 程
3/13(金)	午後～夜	新千歳空港→成田空港→ケアンズ空港 (機内泊)
3/14(土)	早朝	ケアンズ空港到着
	午後	アデレード空港～現地校～ホストファミリーと対面、帰宅 (ホームステイ①)
3/15(日)	終日	ホストファミリーと休日を過ごす (ホームステイ②)
3/16(月) ～20(金)	午前	ホストファミリーと共に登校
	終日	現地校で授業に参加
	午後	授業終了後、ホストファミリーと共に帰宅 (ホームステイ③～⑦)
3/21(土)	終日	ホストファミリーと休日を過ごす (ホームステイ⑧)
3/22(日)	早朝	ホストファミリーと登校～現地校～アデレード空港→ケアンズ空港
	午前～夜	→成田空港～ホテル (ホテル宿泊)
3/23(月)	午前	ホテル～成田空港
	午後	→新千歳空港



(HP学校紹介) 南オーストラリア州立・共学 7～12年生 (中1～高3生) アデレード市内のアカデミック校。(同市にある複数の大学とも連携) 州の認可校として、約65ヵ国から留学生を受け入れている。

21 3年次 個人探究「プレゼンテーション」(実施要領)

GANTO PRIDE「プレゼンテーション」

- 1 **ねらい** 提出した論文の内容を口頭で発表する
- 2 **内容** これまで学んだ探究の内容をもとに個人テーマを設定しプレゼンテーションする。
- 3 **日時** クラス発表 8月28日(木) 6、7時間目, 9月8日(月) 7時間目  
クラス代表発表 9月11日(木) 6、7時間目
- 4 **場所** クラス発表:各HR教室  
クラス代表発表:体育館
- 5 **方法** ◎クラス発表  
事前準備  
① 各自で書いた論文の内容に沿って発表原稿を用意する。  
② プレゼンソフトまたは口頭発表  
  
発表  
③ 電子黒板を使用しプレゼンソフトで発表または口頭で発表する  
④ 準備1分、質疑応答分 合計4分程度(目安です。HR事情によって変更)  
  
代表選考  
⑤ スタディーサブリアンケートを利用し、クラス毎に生徒が良いと思った発表2つを入力する。得票が多い2名をクラス代表とする。  
  
◎クラス代表発表  
① 9月11日(木) 6、7時間目  
② プロジェクタ、スクリーン使用  
③ (準備3分、発表4分、質疑応答3分 合計10分)×8名  
④ 講評:栗林さん、山口教授(北海商科大)にお願いする予定。

テーマ
日本をラジオ大国にするには
地域交通の存続に向けて
学校教育におけるタブレットの使用について
スポーツ中の感情の起伏とルーティンの重要性
月の運動と見かけの大きさについて
日本礼賛メディアと国民の心理から礼賛表現の問題を考える
日本が中国に支配される
AIでK-POPアイドルを作る

